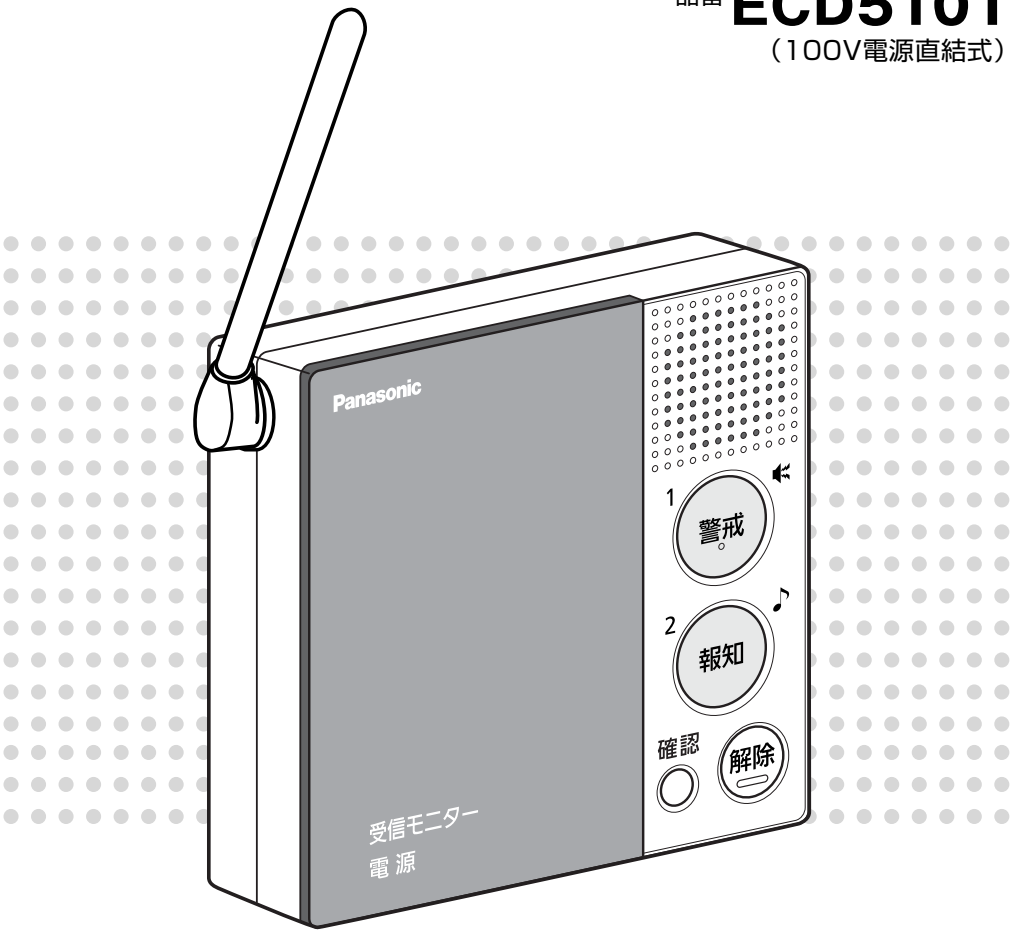
Panasonic

設定マニュアル

小電力型 ワイヤレスセキュリティ受信器親機

品番 **ECD5101**
（100V電源直結式）



●正しくお使いいただくために、必ずお読みください。
●設定後、必ず施主様にお渡しください。

8A3 691 00001 M1108-0DH

説明書の読みかた

■説明書の種類

本製品には、下記の説明書が付属しています。

◇設定マニュアル（本書）

本製品を使い始める前に必要な発信器･送信器の登録や各種設定のしかた、
また必要に応じて設定を変更する方法について説明しています。

＜主な内容＞
登録･機能設定、登録の消去、など。

◇取扱説明書

本製品の特長や機能、操作方法、トラブル対処方法などについて説明しています。

＜主な内容＞
各表示灯やボタンの説明、通常時の使いかた、異常時の使いかた、
便利な使いかた、困ったときの対処方法、など。

◇施工説明書

本製品の取付方法や自動通報機を使用する場合の接続方法を記載しています。

＜主な内容＞
施工上のご注意、取付方法、配線方法、など。

■説明書の用途

◇必ず読んでいただきたい項目◇

初期登録など	●使い始める前に、各部の名称やはたらきを理解します。 ⇒取扱説明書 11ページ「1.1 各部のなまえとはたらき（使用時）」参照。 ⇒設定マニュアル 7ページ「1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）」参照。 ●発信器や送信器を登録したり、警戒するエリアや動作などを設定します。 ⇒設定マニュアル 6ページ「1. 登録･機能設定」参照。
▼	
使用開始	●外出時や在宅時など、状況に応じて警戒／報知セットします。 外出時 ⇒取扱説明書 25ページ「2.2 外出時の警戒セット操作」参照。 帰宅時 ⇒取扱説明書 29ページ「2.5 帰宅時の警戒解除操作」参照。

◇必要に応じて読んでいただきたい項目◇

警報が鳴ったとき

警報メッセージを停止し、警報の発生場所や原因を確認します。
⇒取扱説明書　33ページ
「3.1 警戒／報知の動作」

故障かなと思ったとき

原因を調べて対処し、解決できない場合は施工店や当社お客様相談窓口に連絡します。
⇒取扱説明書　58ページ
「5 故障かな?と思ったら」

発信器や送信器を消去したり、追加したいとき

使用しない発信器や送信器を消去したり、新たな発信器や送信器を登録します。
⇒設定マニュアル　33ページ
「2.1　登録した機器の登録を消去する」、17ページ「1.5 発信器･送信器および警戒セット･解除発信器を登録する」

表示灯の意味を知りたいとき

状態表示灯の種類や表示の意味を確認します。
⇒取扱説明書　12ページ
「1.1.1 状態表示灯の表示内容」

停電が発生したとき

停電バックアップ電池がある場合とない場合の動作と対処方法を確認します。
⇒取扱説明書　44ページ
「3.6 停電になったら」

発生した警報の内容を知りたいとき

警報の発生場所や内容について確認します。
⇒取扱説明書　48ページ
「3.8 状態表示灯が点滅し続けるとき」

わからない用語があるとき

わからない用語の意味を調べます。
⇒取扱説明書　63ページ、
設定マニュアル　45ページ
「用語集」

動作が正常かどうかを確認したいとき

本製品が正常に動作するかどうかを確認します。
⇒設定マニュアル　30ページ
「1.10 動作確認をする」

警戒セット･解除発信器を使うとき

警戒セット･解除発信器を使った警戒セットや解除などの操作方法や動作について確認します。
⇒取扱説明書　51ページ
「4.1　警戒セット･解除発信器を使う」

非常事態を周りに知らせたいとき

別売のペンダント発信器などで、非常事態を周りに知らせます。
⇒取扱説明書　43ページ
「3.5 非常警報を鳴らすには」

暗証番号の入力方法を知りたいとき

暗証番号の入力方法を確認します。
⇒取扱説明書　40ページ
「3.2.2　暗証番号を設定している場合」

もくじ

説明書の読みかた ……1～2

1 登録・機能設定 ……6～30

1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）……7～8
- ●1.1.1／設定部……8

1.2 システム構成機器……9～10

1.3 設定・登録について……11～15
- ●1.3.1／設定・登録とは……11～12
- ●1.3.2／設定・登録の流れ……13～14
- ●1.3.3／準備をする……15

1.4 周波数チャンネルを確認する……16

1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する……17～21
- ●1.5.1／登録できる発信器・送信器および警戒セット・解除発信器……17
- ●1.5.2／登録手順……18～21

1.6 警報ランプ付ブザー受信器を登録する……22

1.7 電波の到達を確認する（電波到達確認モード）……23～24

1.8 暗証番号を設定する（暗証番号設定モード）……25～28
- ●1.8.1／警報解除の操作について……25
- ●1.8.2／設定の手順……26～28

1.9 機能を設定する……29

1.10 動作確認をする……30
- ●1.10.1／警報メッセージの止めかた……30

2 こんなこともできます ……32～39

2.1 登録した機器の登録を消去する……33～36
- ●2.1.1／個別に消去する……33～34
- ●2.1.2／全部消去する……35～36

2.2 送信器の登録エリアを変更したい場合は……37

2.3 別売の停電バックアップ電池を使用する場合は……38～39
- ●2.3.1／停電バックアップ電池について……38
- ●2.3.2／停電バックアップ電池のセット……39

3 その他 ……40～49

3.1 登録・設定時のトラブル処置……41～44

3.2 用語集……45

3.3 登録内容記録用紙……46～49
- ●3.3.1／暗証番号設定シート……46
- ●3.3.2／発信器・送信器登録設定シート……47～48
- ●3.3.3／警戒セット・解除発信器登録設定シート……49

1 登録・機能設定

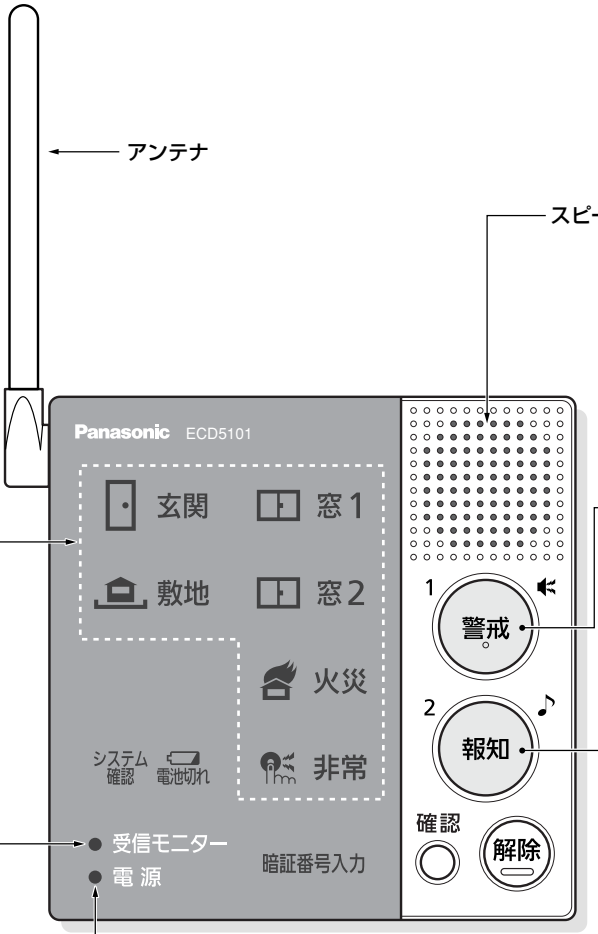
1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）……7〜8
●1.1.1／設定部……8
1.2 システム構成機器……9〜10
1.3 設定・登録について……11〜15
●1.3.1／設定・登録とは……11〜12
●1.3.2／設定・登録の流れ……13〜14
●1.3.3／準備をする……15
1.4 周波数チャンネルを確認する……16
1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する……17〜21
●1.5.1／登録できる発信器・送信器および警戒セット・解除発信器……17
●1.5.2／登録手順……18〜21
1.6 警報ランプ付ブザー受信器を登録する……22
1.7 電波の到達を確認する（電波到達確認モード）……23〜24
1.8 暗証番号を設定する（暗証番号設定モード）……25〜28
●1.8.1／警報解除の操作について……25
●1.8.2／設定の手順……26〜28
1.9 機能を設定する……29
1.10 動作確認をする……30
●1.10.1／警報メッセージの止めかた……30

1.1 各部のなまえとはたらき（設定時）

小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器親機
（100V電源直結式）（ECD5101）

各ボタンや表示灯のはたらきは設定時と使用時で異なります。
使用時のはたらきについては、取扱説明書の「1.1各部のなまえとはたらき（使用時）」を参照してください。

■表面



状態表示灯
●登録が完了、または登録を消去したときに1秒間点灯します。

警戒ボタン
●暗証番号入力時に使用します。（25ページ参照）
●発信器・送信器を個別に消去するときに使用します。（33ページ参照）

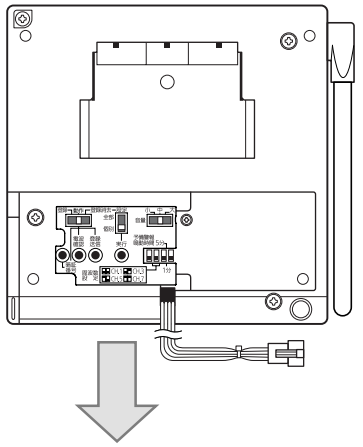
受信モニター
●発信器・送信器の電波を受けているときに赤色点灯／点滅します。

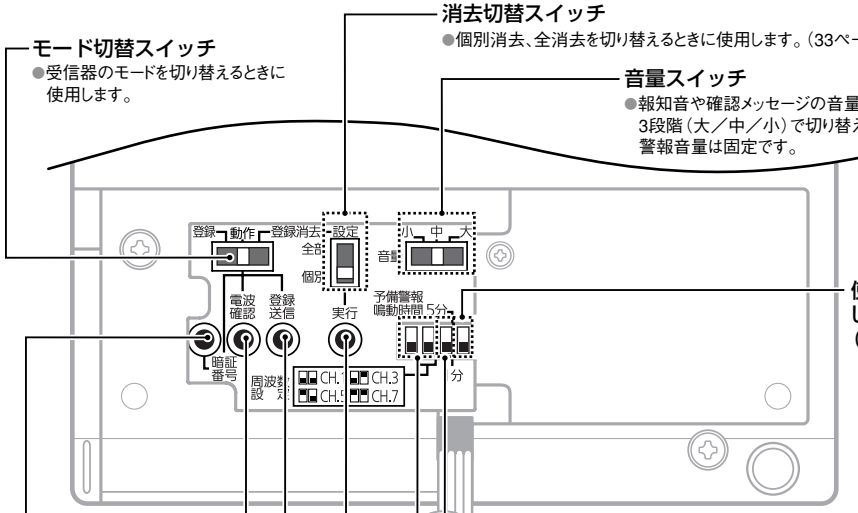
電源表示灯
●電源が入っているときに緑色点灯します。
●登録モード時は点滅します。

報知ボタン
●暗証番号入力時に使用します。（25ページ参照）
●発信器・送信器を個別に消去するときに使用します。（33ページ参照）

1.1.1 設定部

■裏面





モード切替スイッチ
●受信器のモードを切り替えるときに使用します。

消去切替スイッチ
●個別消去、全消去を切り替えるときに使用します。（33ページ参照）

音量スイッチ
●報知音や確認メッセージの音量を3段階（大／中／小）で切り替えます。警報音量は固定です。

使用しません。（スイッチ4）

機能設定（スイッチ3）
●予備警報鳴動時間を設定します。（29ページ参照）

周波数設定（スイッチ1・2）
●周波数を設定するときに使用します。（16ページ参照）

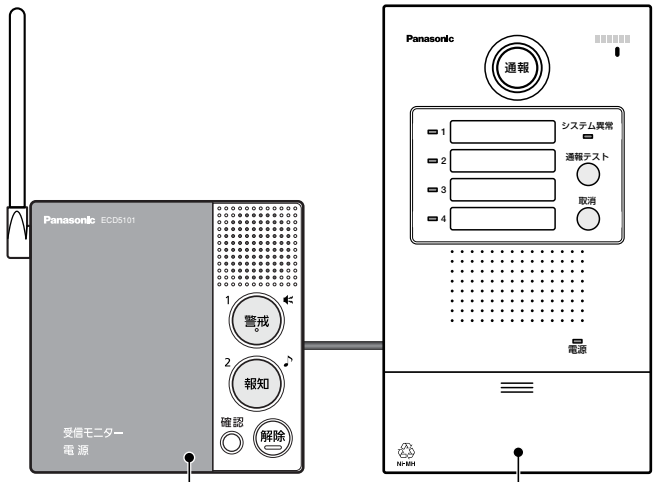
電波確認ボタン
●電波到達確認モードに入るときに使用します。（23ページ参照）

暗証番号登録ボタン
●暗証番号を登録するときに使用します。（26ページ参照）

登録送信ボタン
●警報ランプ付ブザー受信器を登録するときに使用します。（22ページ参照）

消去実行ボタン
●登録消去を実行するときに使用します。（33ページ参照）

1.2 システム構成機器

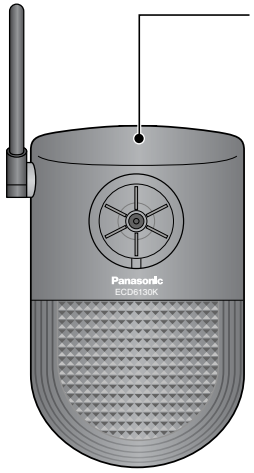


ECD5101
小電力型ワイヤレスセキュリティ受信器親機

警戒時に発信器・送信器からの電波を受信すると警報メッセージが鳴ります。
また、玄関や窓、クレセント錠の開閉状態を表示します。

WQNT102/WQNT103
自動通報機

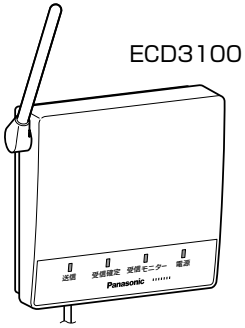
受信器からの信号を受け、電話回線を使用して自動通報します。
WQNT102は通報ボタンがありません。
※自動通報機の接続は任意です。



ECD6130K
警報ランプ付ブザー受信器

セキュリティ受信器から送られる信号を光と音で表示します。

電波中継に



ECD3100

小電力型ワイヤレス中継器（2台まで）
発信器・送信器～受信器間の電波を中継し、電波の到達距離を伸ばします。

警戒や報知のセット・解除に

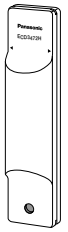
ECD3320
ECD3320P

小電力型
ワイヤレス警戒セット・解除発信器
（アンサーバック付）
遠隔操作で警戒セットや解除ができます。

組み合わせ可能な発信器・送信器

●発信器・送信器の登録台数は警戒セット・解除発信器を除き合計30台まで。
警戒セット・解除発信器は合計7台まで。

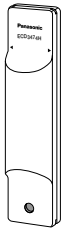
玄関用



ECD3472A・H（防雨形）
ECD3472AP・HP（防雨形）

小電力型ワイヤレス
ドアセンサー送信器
（受信器連動警報機能付）
ドアの開閉を検知し、電波を送信します。
窓1・窓2用のECD2472A・Hは玄関用にも使用できます。

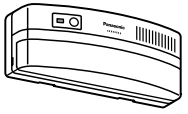
敷地（屋外警戒）用



ECD3474A・H（防雨形）
ECD3474AP・HP（防雨形）

門扉用

小電力型ワイヤレス門扉センサー送信器
（受信器連動警報機能付）
門扉の開閉を検知し、電波を送信します。

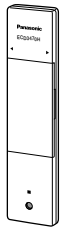


ECD3420A・H
ECD3420AP・HP

敷地用

小電力型ワイヤレス熱線センサー送信器（屋側用）
建物付近の侵入者を検知し、電波を送信します。

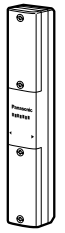
窓1・窓2用



ECD3470A・H（防沫形）
ECD3470AP・HP（防沫形）

窓の開閉検知（クレセント錠付）

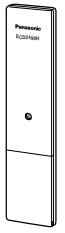
小電力型ワイヤレス窓センサー送信器
（受信器連動警報機能付）
窓、クレセント錠の開閉を検知し、電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。



ECD2472A・H
ECD24721A・H（防沫形）

窓の開閉検知（クレセント錠なし）

小電力型ワイヤレスドア・窓センサー送信器
（警報音なし）
ドアや窓の開閉を検知し、電波を送信します。
防沫形のECD24721A・Hは浴室の窓にも使えます。



ECD2490A・H（防沫形）
ECD2490AP・HP（防沫形）

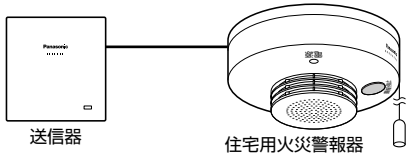
窓ガラスの破壊検知

小電力型ワイヤレス
窓ガラス破壊センサー送信器
窓ガラスが割れたことを検知し、電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。

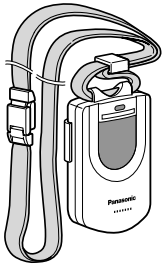
火災時の警報用

小電力型ワイヤレス
接点入力送信器
（火災・ガス対応型）（1入力用）
住宅用火災警報器が作動すると電波を送信します。

ECD2411
＋
SH28413（例）



非常時の連絡用



ECD2305

小電力型ワイヤレス
ペンダント発信器
ボタンが押されると、電波を送信します。
首にかけられるタイプです。

ECD2308

小電力型ワイヤレス
壁掛発信器
ボタンが押されると、電波を送信します。
壁に取り付けるタイプです。

1.3 設定・登録について

1.3.1 設定・登録とは

●ワイヤレスセキュリティシステムは警戒したい場所や使いかたが異なる6つのエリアに分かれています。発信器・送信器を登録する際には下記のことに注意してください。

・複数個の発信器・送信器を1つのエリアに登録することができます。
　右記の例：リビングの窓に取り付ける送信器3台はすべて同じエリアに登録します。
・すべてのエリアを使用する必要はありません。状況に応じてお使いください。

●エリア❶は「玄関」、❷❸は「窓」、❹は「敷地」、❺は「火災警報」、❻は「非常警報」に使用してください。

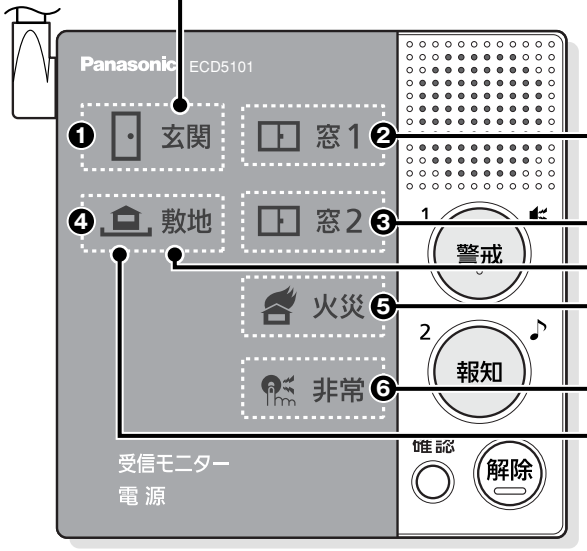
●エリア❶とエリア❷❸、エリア❹は警戒セットまでの時間や防犯警報が鳴るまでの時間が異なります。

■各エリアの動作説明

警戒場所	エリア番号	報知セット状態	警戒セット状態	
			警戒開始遅延時間	予備警報時間
玄関・勝手口	❶	即時報知	5分	1分または5分
窓1・窓2※	❷ ❸	即時報知	0分	0分
敷地	❹	即時報知	5分	0分
火災※	❺	常時警戒・即時警報		
非常※	❻	常時警戒・即時警報		

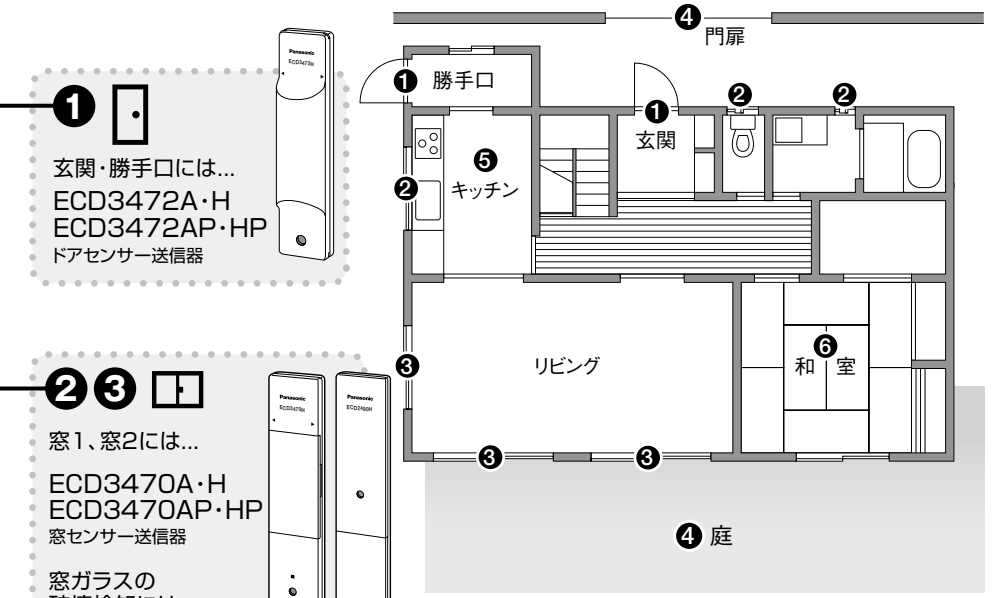
※受信器の警戒／報知セット状態に関係なく窓ガラス破壊センサー送信器、および火災・非常用に登録した発信器・送信器が異常を検知すると、警報音が鳴ります。

登録例



受信器

発信器・送信器の配置見取り図

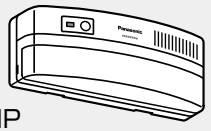


❶ 玄関・勝手口には...
ECD3472A・H
ECD3472AP・HP
ドアセンサー送信器

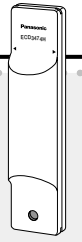
❷❸ 窓1、窓2には...
ECD3470A・H
ECD3470AP・HP
窓センサー送信器

窓ガラスの破壊検知には...
ECD2490A・H
ECD2490AP・HP
窓ガラス破壊センサー送信器

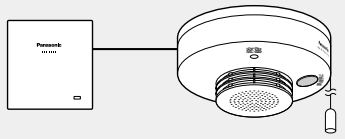
❹ お庭の警戒には...
ECD3420A・H
ECD3420AP・HP
熱線センサー送信器



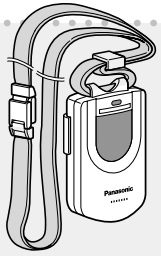
❹ 門扉の警戒には...
ECD3474A・H
ECD3474AP・HP
門扉センサー送信器



❺ 火災の警戒には...
ECD2411+SH28413（例）
接点入力送信器と
住宅用火災警報器の組み合わせ



❻ 非常の連絡には...
ECD2305
ペンダント発信器



1.3.2 設定・登録の流れ

設定・登録は、次のような流れに沿って行います。

1 受信器を設置する
（施工説明書参照）

施工説明書にしたがって受信器を設置します。

2 準備をする
（15ページ参照）

発信器・送信器を並べて番号シールを貼ります。

3 周波数チャンネルの確認
（16ページ参照）

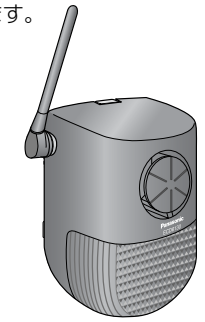
受信器の周波数チャンネルの確認および設定をします。

4 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器の登録
（17ページ参照）

エリアごとに発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録します。

5 警報ランプ付ブザー受信器の登録
（22ページ参照）

警報ランプ付ブザー受信器を登録します。



6 電波到達確認
（23ページ参照）

登録した発信器・送信器の電波が受信器に届くことを確認します。

必ず実施してください。

7 暗証番号の設定
（25ページ参照）

防犯警報・予備警報を解除する場合に、暗証番号を設定することができます。簡単に警報解除されないように暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。

8 機能設定
（29ページ参照）

予備警報メッセージの鳴動時間を設定します。

9 動作確認
（30ページ参照）

取扱説明書にしたがって動作確認をします。

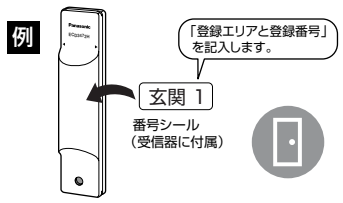
1.3.3 準備をする

設定・登録のための準備をします。

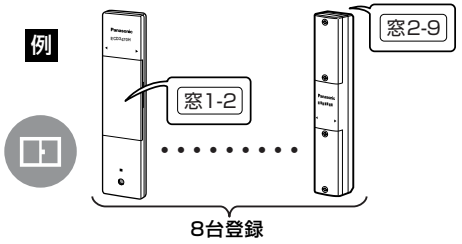
登録する発信器・送信器を並べて、番号シールを貼る

(注)・登録番号は重複しないように1から順番に通し番号で記入してください。

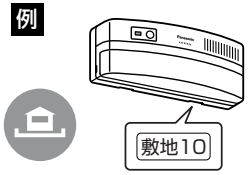
玄関用



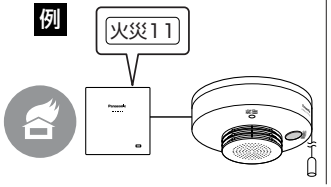
窓1・窓2用



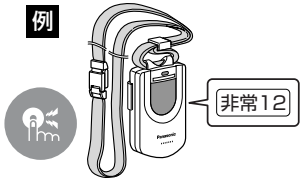
敷地用



火災用



非常用

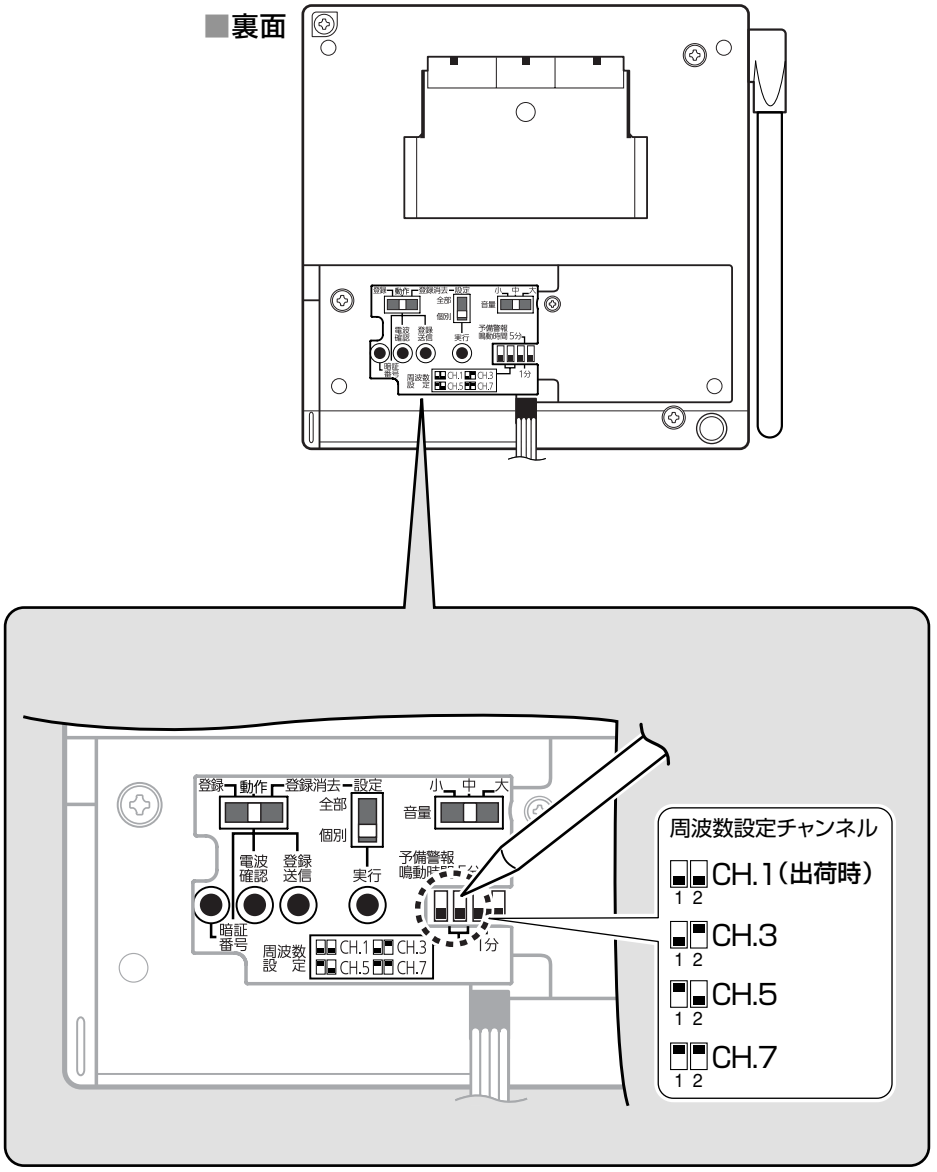


1.4 周波数チャンネルを確認する

●受信器の周波数チャンネルを設定します。
●出荷時は受信器および発信器・送信器とも「CH.1」に設定されています。
通常は変更不要です。周波数チャンネルが違っていれば、合わせてください。

(注)・受信器の周波数チャンネルを変更しても発信器・送信器を登録し直す必要はありません。

■裏面



1.5 発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を登録する

つづく ■■➡

●発信器・送信器および警戒セット・解除発信器は登録モードで登録します。
●発信器・送信器は最大30台まで登録できます。
　また警戒セット・解除発信器は最大7台まで登録できます。

1.5.1 登録できる発信器・送信器および警戒セット・解除発信器

登録できるエリアについては、11～12ページを参照してください。

エリア	品　番
玄関	ドアセンサー送信器（ECD3472A・H）（ECD3472AP・HP） ドア・窓センサー送信器（ECD2472A・H） ドア・窓センサー送信器（防沫形）（ECD24721A・H）
窓1・窓2※	窓センサー送信器（ECD3470A・H）（ECD3470AP・HP） ドア・窓センサー送信器（ECD2472A・H） ドア・窓センサー送信器（防沫形）（ECD24721A・H） 窓ガラス破壊センサー送信器（ECD2490A・H）（ECD2490AP・HP）
敷地	門扉センサー送信器（ECD3474A・H）（ECD3474AP・HP） 熱線センサー送信器（ECD3420A・H）（ECD3420AP・HP）
火災※	接点入力送信器（火災・ガス対応型）（ECD2411）
非常※	ペンダント発信器（ECD2305） 壁掛発信器（ECD2308）
警戒セット・解除用	警戒セット・解除発信器（ECD3320・ECD3320P）

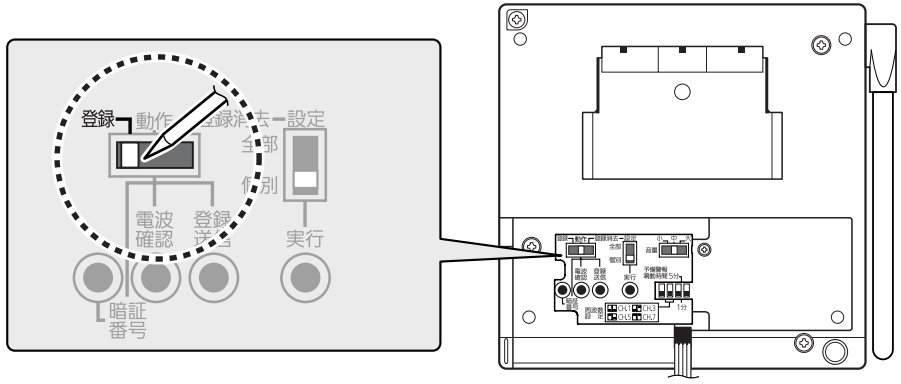
※受信器の警戒／報知セット状態に関係なく窓ガラス破壊センサー送信器、および火災・非常用に登録した発信器・送信器が異常を検知すると、警報音が鳴ります。

注 ・ECE品番の発信器・送信器は登録できません。
・電池交換時や異常時の点検のために、各機器を登録したエリア、および登録番号を47～49ページの「登録設定シート」に記入してください。

1.5.2 登録手順

❶ モード切替スイッチを登録モードにする

●電源表示灯が点滅し、「ポン、登録モードです」が鳴ります。

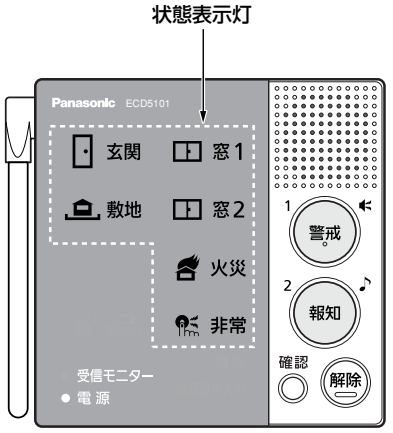


注 ・「ポン、登録モードです」と鳴らなかった場合は登録モードに入っていません。非警戒状態（警戒ボタン・報知ボタンがともに消灯している状態）であることを確認して、一度モード切替スイッチを動作モードに戻してから再度行ってください。

❷ 番号シールを貼った順（15ページ参照）に、発信器・送信器を動作させる（次のページ参照）

●登録されたエリアと登録番号が鳴ります。
　例）「玄関の1番　登録しました」
●登録されたエリアの状態表示灯が1秒間点灯し、その後消灯します。
●発信器・送信器を複数台登録する場合は、状態表示灯が消灯してから順次動作させてください。
●警戒セット・解除発信器を登録した場合は、状態表示灯は点灯しません。

注 ・番号シールを貼った順に発信器・送信器を動作させないと、登録番号と番号シールの番号が一致しません。



つづく

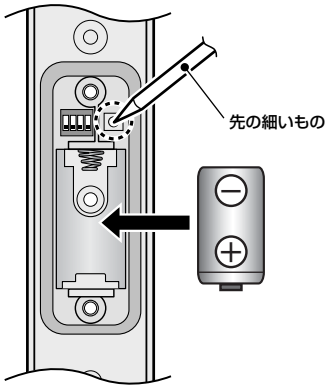
注 **・各発信器・送信器の電池の入れ方、はずし方などについては、商品に付属の説明書を参照してください。**
・登録できない発信器・送信器を動作させた場合は、「登録できません」が鳴ります。
・最大登録台数を超えて次の新しい登録番号を受信した場合は、「発信器　これ以上登録できません」が鳴ります。

ドアセンサー送信器（ECD3472A・H/ECD3472AP・HP）門扉センサー送信器・窓ガラス破壊センサー送信器

①リチウム電池をはずす。

②登録ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける。

登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。（窓ガラス破壊センサー送信器以外）
受信器からは「玄関（または窓、敷地）の○番登録しました」が鳴り、登録したエリアの状態表示灯が1秒間点灯し、その後消灯します。



図はドアセンサー送信器の場合

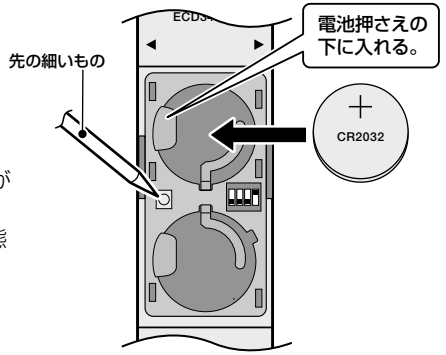
窓センサー送信器（ECD3470A・H/ECD3470AP・HP）

①リチウム電池をはずす。

②登録送信ボタンを押しながら
上側のリチウム電池を入れ、
そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける。

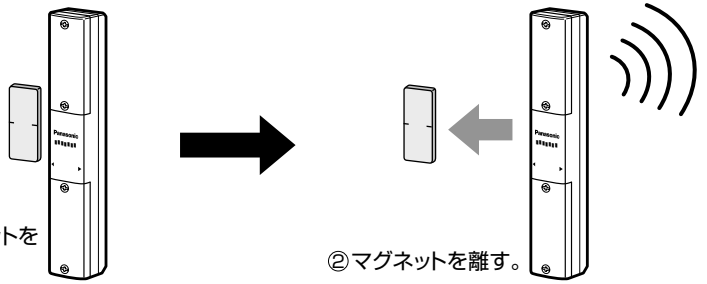
登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。受信器からは「窓の○番登録しました」が鳴り、登録したエリアの状態表示灯が1秒間点灯し、その後消灯します。

③下側のリチウム電池を入れる。



注 **・窓センサー送信器と窓ガラス破壊センサー送信器のエリアスイッチを設定してから登録してください。設定していないと、登録したいエリアに登録できません。**
・登録するエリアを間違えた場合、登録エリアを変更してください。（37ページ参照）

ドア・窓センサー送信器（ECD2472A・H/ECD24721A・H）



注 **・送信器のエリアスイッチを設定してから登録してください。設定していないと、登録したいエリアに登録できません。**
・登録するエリアを間違えた場合、登録エリアを変更してください。（37ページ参照）

熱線センサー送信器

①リチウム電池をはずす。

② 登録送信ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける。

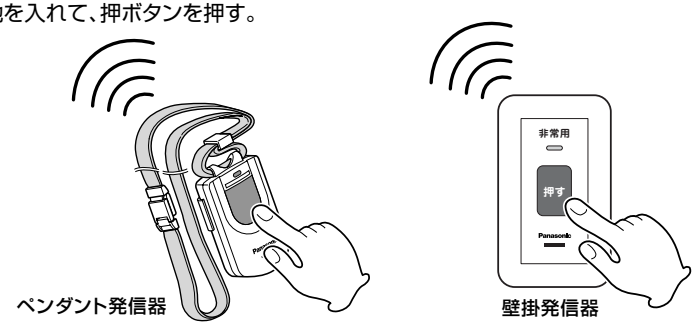
登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。受信器からは「敷地の○番登録しました」が鳴り、敷地灯が1秒間点灯し、その後消灯します。

③リチウム電池を再度、入れ直す。

注 **・登録完了した後は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。**
・電池を入れてから約30秒間は動作しません。

ペンダント発信器・壁掛発信器

① 電池を入れて、押ボタンを押す。



ペンダント発信器　　壁掛発信器

接点入力送信器

①接点入力端子を短絡して動作させる。

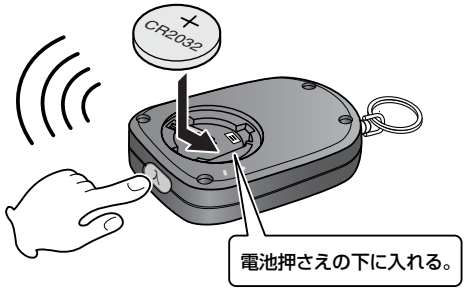
注 ・送信器の火災・ガス切替設定スイッチが「ガス設定」になっていると、登録できません。必ず「火災設定」になっていることを確認してください。送信器に付属の説明書を参照してください。

警戒セット・解除発信器

①リチウム電池をはずす。

②電源ボタンを押しながら
リチウム電池を入れ、
電源ボタンを約3秒間押し続ける。

登録すると、受信器から
「警戒セット・解除発信器の○番
登録しました」が鳴る。
（状態表示灯は点灯しません。）



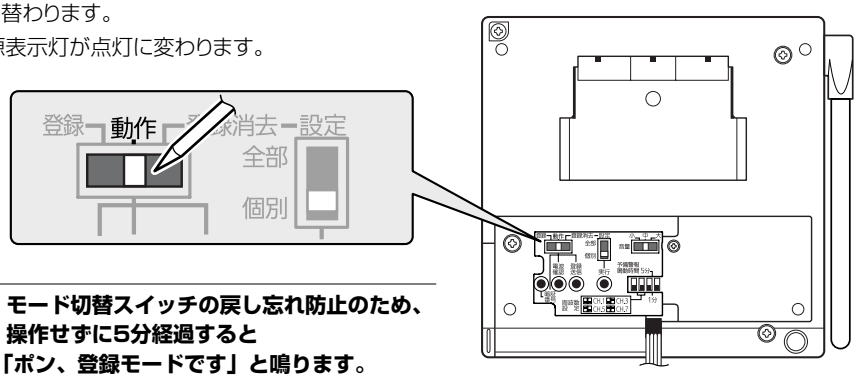
③リチウム電池を再度、入れ直す。

注 ・登録完了した後は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。

❸ モード切替スイッチを動作モードにする

●「ポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに切り替わります。

●電源表示灯が点灯に変わります。



注 ・モード切替スイッチの戻し忘れ防止のため、操作せずに5分経過すると「ポン、登録モードです」と鳴ります。

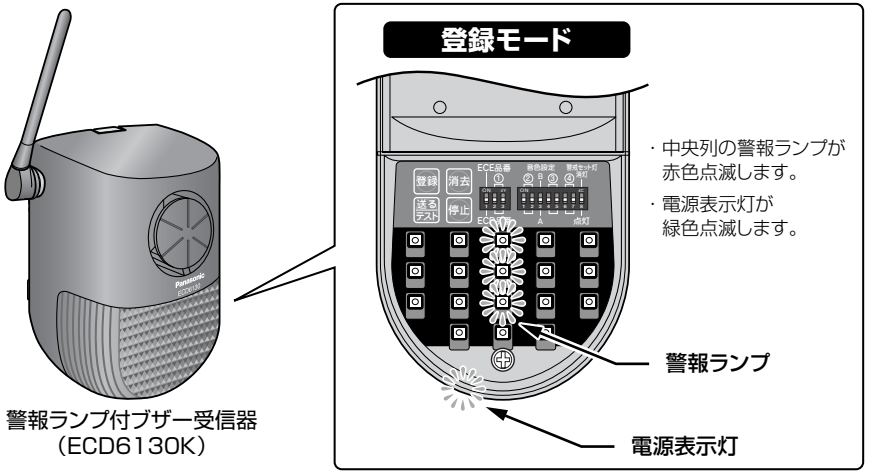
1.6 警報ランプ付ブザー受信器を登録する

●警報ランプ付ブザー受信器は、動作モードで受信器に登録します。
1台の受信器に対して、警報ランプ付ブザー受信器は何台でも登録できます。

●このモードで登録できる機器　警報ランプ付ブザー受信器（ECD6130K）

❶ 警報ランプ付ブザー受信器に電源を入れると

●警報ランプ付ブザー受信器が登録モードになります。

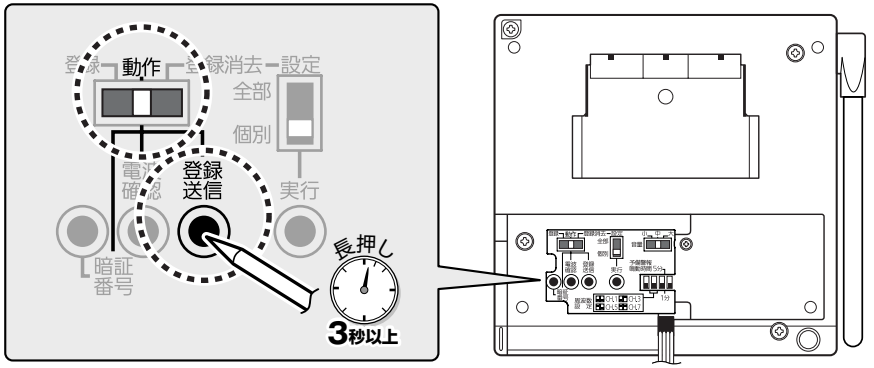


注 ・警報ランプが消灯し、電源表示灯が点灯する場合は、すでに警報ランプ付ブザー受信器に発信器・送信器などが登録されています。警報ランプ付ブザー受信器の説明書にしたがい、発信器・送信器の登録を消去してください。消去すると、警報ランプ付ブザー受信器は登録モードになります。

❷ セキュリティ受信器のモード切替スイッチが動作モードであることを確認し、受信器の登録送信ボタンを3秒以上長押しする

●「ピッ」が鳴り、登録信号が送信されます。

●警報ランプ付ブザー受信器で登録確定音「ピー」が鳴ったら登録完了です。



1.7 電波の到達を確認する（電波到達確認モード）

つづく ■■➡

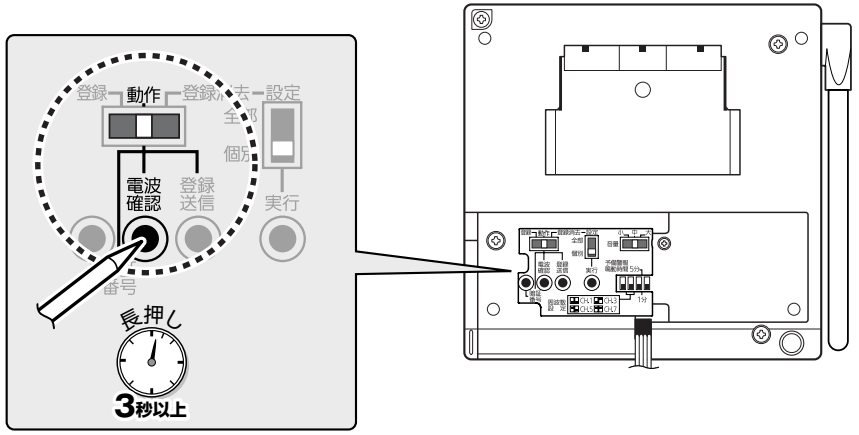
●電波到達確認モードでは、登録した発信器・送信器および警戒セット・解除発信器の電波が受信器に届くことを確認します。

❶ モード切替スイッチが動作モードであることを確認し、電波確認ボタンを3秒以上長押しする

注 ・警報ランプ付ブザー受信器の電波確認は警報ランプ付ブザー受信器側で行ってください。電波確認の手順については、警報ランプ付ブザー受信器に付属の説明書を参照してください。

●発信器・送信器が登録されているエリアの状態表示灯が点灯します。

●「ポン、電波確認モードです」が鳴ります。

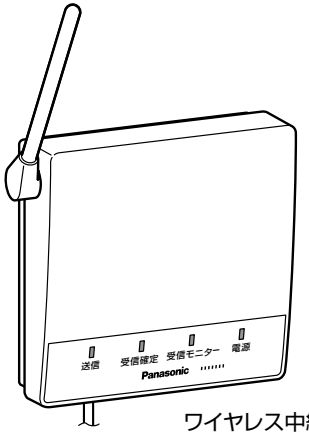


電波が届きにくい場合は・・・

発信器・送信器から電波が届きにくい場合は、別売のワイヤレス中継器（ECD3100）を設置することをおすすめします。

●購入される場合は、施工店または当社へ相談してください。

●受信器へ登録する必要があります。使い方については、中継器に付属の説明書を参照してください。



ワイヤレス中継器

❷ 登録している発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を実際に使用する場所で動作させる

例）送信器を動作させたり、発信器の押ボタンを押す。

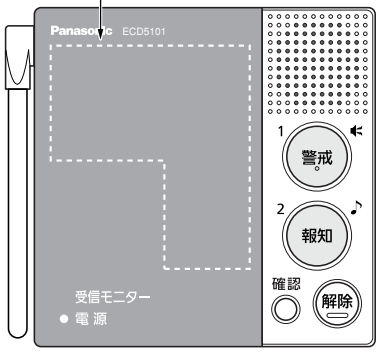
注 ・登録しているすべての発信器・送信器および警戒セット・解除発信器で電波の到達を確認してください。

●電波を受信するとエリア名、登録番号と、電波状況をお知らせします。

・電波が正常に届く場合:
（例）「玄関の1番　正常です」
・電波が届きにくい場合:
（例）「敷地の10番　受信できません」
・電波が届かない場合:鳴りません

●電波が正常に届く場合は、登録されているエリアの状態表示灯が1秒間点滅します。

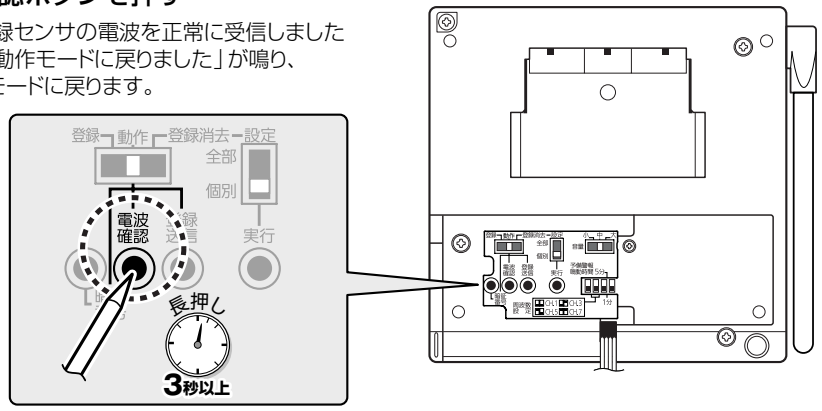
●エリアに登録されているすべての発信器・送信器の電波が正常に届くことを確認すると、そのエリアの状態表示灯が消灯します。



注 ・状態表示灯が点灯し続けている場合は、点灯しているエリアに登録されている発信器・送信器および警戒セット・解除発信器の電波が届きにくいため、受信できない場合があります。発信器・送信器および警戒セット・解除発信器の使用場所を変更するか、中継器を設置し、再度電波の到達を確認してください。

❸ 電波確認ボタンを押す

●「全登録センサの電波を正常に受信しましたポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに戻ります。



注 ・受信できない発信器・送信器があった場合は、動作モードに戻ったときに「○○ 受信できません」とお知らせします。
・警報メッセージが鳴る場合は、30ページを参照して音を止めてください。

1.8 暗証番号を設定する（暗証番号設定モード）

つづく ■■➡

●受信器で防犯警報・予備警報を解除する場合、および警戒セット・解除発信器で警戒を解除する場合に、暗証番号を設定することができます。
簡単に警戒解除されないように暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。

㊟・受信器と警戒セット・解除発信器で入力する暗証番号は同じです。

1.8.1 警報解除の操作について

防犯警報・予備警報を解除するときの操作としては、下記の2つの方法があります。
お好みに合わせて選択して、26ページからの手順にしたがって設定してください。

出荷時は暗証番号は設定されていません。

■暗証番号を設定している場合■

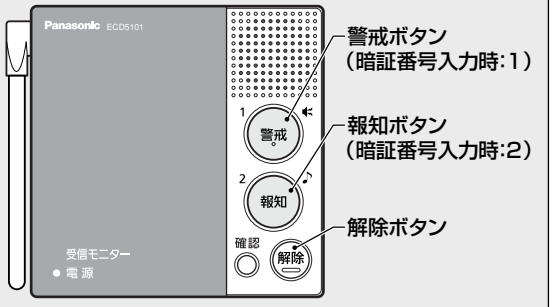
操作説明	操　作	受信器の状態
① 解除ボタンを押す	解除	・警戒ボタンと報知ボタンが点灯に変わり、暗証番号入力待ち状態になる。 ・暗証番号入力表示灯が点滅する。
② 警戒ボタン、報知ボタンを押して、4ケタの暗証番号を入力する	例）「1・2・1・2」を設定している場合 1 警戒 → 2 報知 → 1 警戒 → 2 報知	暗証番号が合っていると、警報メッセージが止まり、非警戒状態になる。 暗証番号が間違っていると、警報が継続する。

■暗証番号を設定していない場合■

操作説明	操　作	受信器の状態
① 解除ボタンを押す	解除	警報メッセージが止まり、非警戒状態になる。

㊟・出荷時は解除ボタンを押すだけで防犯警報、予備警報が解除されてしまいますので、暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。
・予備警報中に受信器で3回暗証番号を間違えると、すぐに防犯警報になります。
・警戒セット・解除発信器で3回暗証番号を間違えると、すぐに防犯警報になります。

使用ボタン一覧

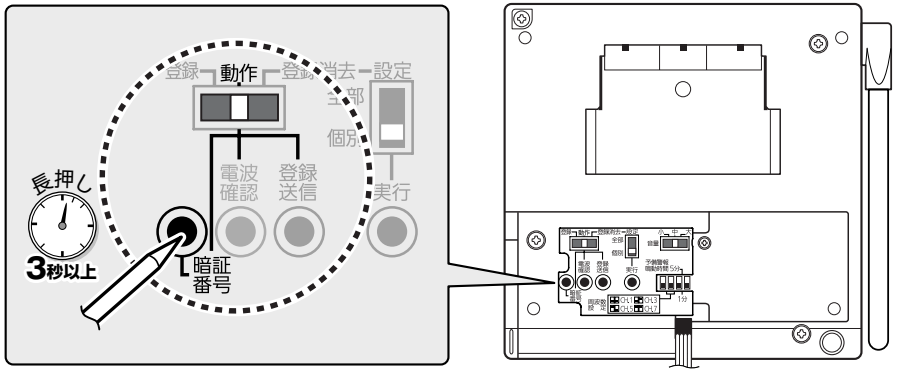


1.8.2 設定の手順

■暗証番号を設定する場合■

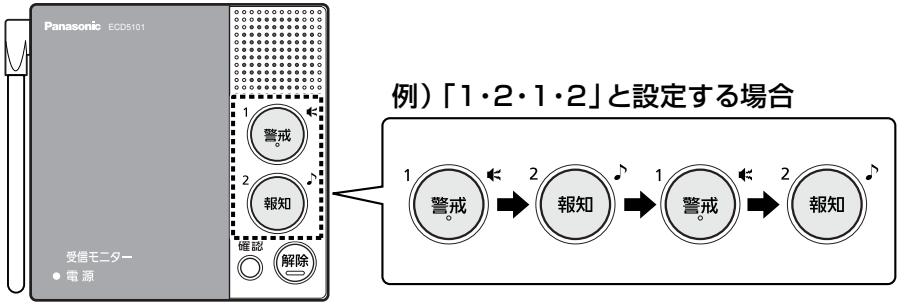
❶ 受信器が非警戒状態であり、モード切替スイッチが動作モードであることを確認し、暗証番号登録ボタンを3秒以上長押しする

●「ポン、暗証番号設定モードです」が鳴ります。
●警戒ボタン、報知ボタンが点灯します。



❷ 警戒ボタン、報知ボタンを組み合わせて、4ケタの暗証番号を入力する

●4ケタ目を入力すると、確定音「ピー、暗証番号を登録しました」が鳴り、暗証番号が確定します。



㊟・10秒以上何も操作をしなかった場合、暗証番号設定モードが終了し、動作モードになります。

❸ 暗証番号が確定すると自動的に暗証番号設定モードが終了し、動作モードに戻る

●「ポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに戻ります。

■暗証番号を変更する場合■

再度、手順 ❶ より設定し直してください。

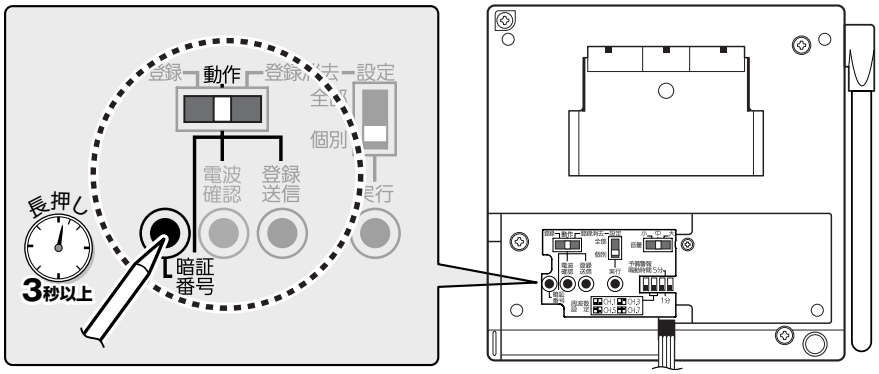
つづく ■■■

■設定した暗証番号を消去するには■

❶ 受信器が非警戒状態であり、モード切替スイッチが動作モードであることを確認し、暗証番号登録ボタンを3秒以上長押しする

●「ポン、暗証番号設定モードです」が鳴ります。

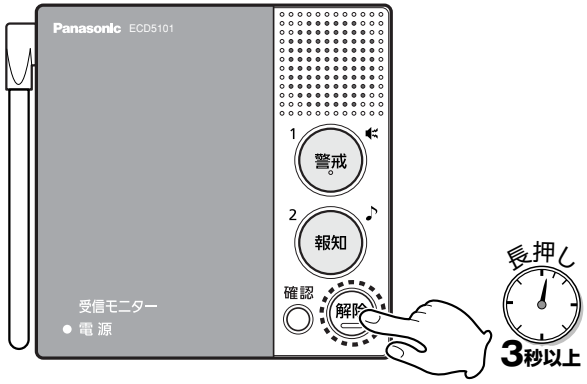
●警戒ボタン、報知ボタンが点灯します。



❷ 解除ボタンを3秒以上長押しする

●確定音「ピー、暗証番号を消去しました」が鳴り、暗証番号が消去されます。

●警戒ボタン・報知ボタンが消灯します。



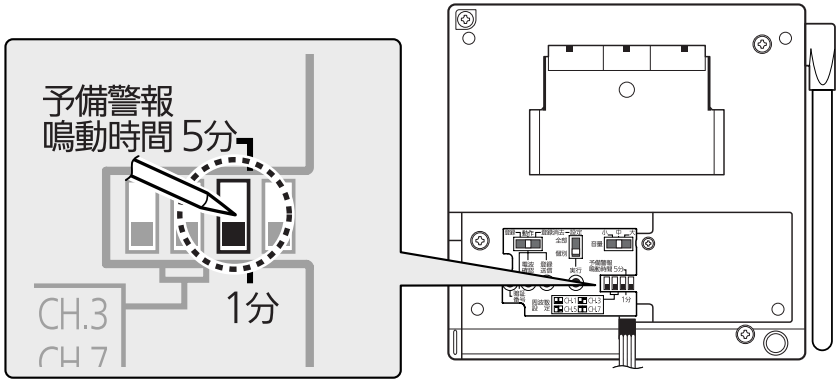
❸ 暗証番号を消去すると自動的に暗証番号設定モードが終了し、動作モードに戻る

●「ポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに戻ります。

1.9 機能を設定する

予備警報メッセージの鳴動時間設定スイッチ（スイッチ3）

予備警報メッセージの鳴動時間を「1分」から「5分」に切り替えることができます。
玄関から受信器まで行くのに1分以上かかる場合は、スイッチ3を「5分」側に設定してください。



注 **・スイッチ4は変更しないでください。出荷時設定のまま（▯）で使用してください。**
・「予備警報」について（45ページ参照）

1.10 動作確認をする

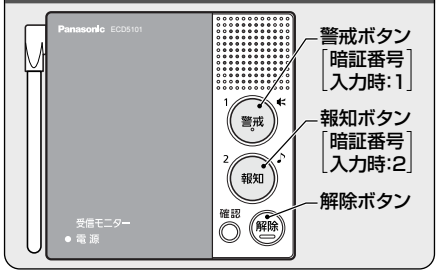
●発信器・送信器を取り付けて、施工を完了させてください。
その後、取扱説明書にしたがって、動作確認をしてください。
●異常があった場合には、41ページにしたがって処置してください。
●予備警報メッセージの鳴動時間を変更したい場合は、機能設定を変更してください。（29ページ参照）

1.10.1 警報メッセージの止めかた

●動作確認時に警報メッセージを止めるには下記の操作をしてください。

注 **・出荷時は解除ボタンを押すだけで防犯警報メッセージ、予備警報メッセージが止まり、警戒解除されてしまいますので、暗証番号を設定してご使用になることをおすすめします。**

使用ボタン一覧



玄関、窓1、窓2エリアで警報が発生した場合

■暗証番号を設定している場合■

操作説明	操　作	受信器の状態
① 解除ボタンを押す	解除	・警戒ボタンと報知ボタンが点灯に変わり、暗証番号入力待ち状態になる。 ・暗証番号入力表示灯が点滅する。
② 警戒ボタン、報知ボタンを押して、4ケタの暗証番号を入力する	例）「1・2・1・2」を設定している場合 1 警戒 → 2 報知 → 1 警戒 → 2 報知	暗証番号が合っていると、警報メッセージが止まり、非警戒状態になる。 暗証番号が間違っていると、警報が継続する。

■暗証番号を設定していない場合■

操作説明	操　作	受信器の状態
① 解除ボタンを押す	解除	警報メッセージが止まり、非警戒状態になる。

非常、火災エリアで警報が発生した場合

操作説明	操　作	受信器の状態
① 解除ボタンを押す	解除	警報メッセージが止まり、非警戒状態になる。

注 **・住宅用火災警報器、窓ガラス破壊センサー送信器の警報音は受信器からは止められません。**

2 こんなこともできます

2.1 登録した機器の登録を消去する……33〜36
- 2.1.1／個別に消去する……33〜34
- 2.1.2／全部消去する……35〜36

2.2 送信器の登録エリアを変更したい場合は……37

2.3 別売の停電バックアップ電池を使用する場合は……38〜39
- 2.3.1／停電バックアップ電池について……38
- 2.3.2／停電バックアップ電池のセット……39

2.1 登録した機器の登録を消去する

つづく ■■➡

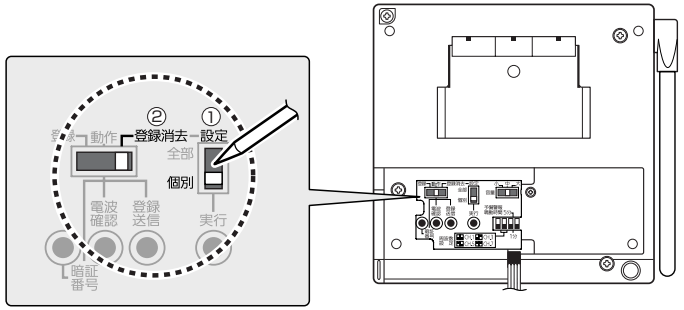
●消去モードでは、発信器・送信器および警戒セット・解除発信器、警報ランプ付ブザー受信器が故障して交換が必要な場合などに登録を消去します。

2.1.1 個別に消去する

注 ・個別消去では警報ランプ付ブザー受信器の登録は消去できません。（35ページの全消去で消去できます。）警報ランプ付ブザー受信器だけの登録を消去したい場合は、警報ランプ付ブザー受信器に付属の説明書を参照してください。

❶ 消去切替スイッチを「個別」側にし、モード切替スイッチを登録消去モードにする

●「ポン、個別消去モードです　警戒ボタンでエリアを、報知ボタンで機器を選んでください　消去する場合は消去実行ボタンを押してください」が鳴ります。



注 ・受信器に何も登録されていない場合は、メッセージは鳴りません。

❷ 警戒ボタン、報知ボタンを押して、消去したい発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を選択する

●選択されているエリアの状態表示灯が点滅します。

●選択されているエリア、登録番号が鳴ります。

注 ・警戒セット・解除発信器を選択しているときは、状態表示灯がすべて消灯します。

例）窓1の4番に登録している発信器の登録を消去する

操　作	メッセージ内容	状態表示灯
① 警戒 を押す	「玄関の1番　消去しますか?」	玄関灯が点滅
② 警戒 を押す	「窓1の2番　消去しますか?」	窓1灯が点滅
③ 報知 を2回押す	「窓1の4番　消去しますか?」	窓1灯が点滅

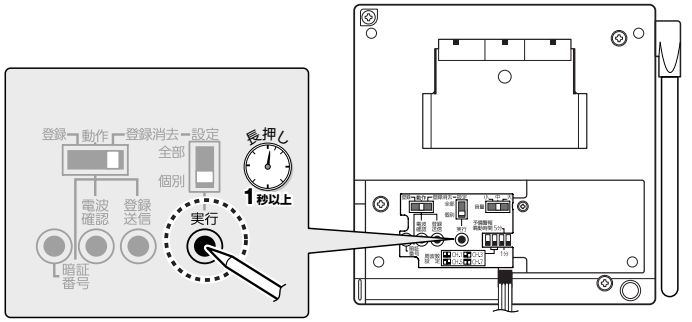
警戒:登録エリアを選択 ／ 報知:登録番号を選択

❸ 消去実行ボタンを1秒間長押しする

例）窓1の4番を消去した場合

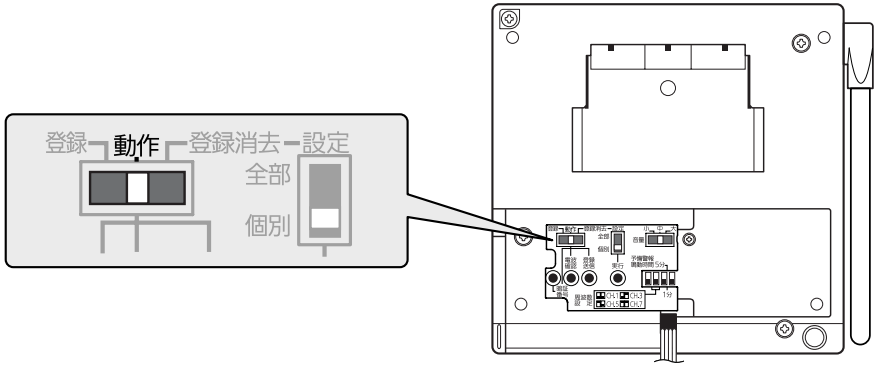
●「ピー、窓1の4番　登録を消去しました」が鳴ります。

●状態表示灯（例:窓1灯）が1秒間点滅します。



❹ モード切替スイッチを動作モードにする

●「ポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに戻ります。

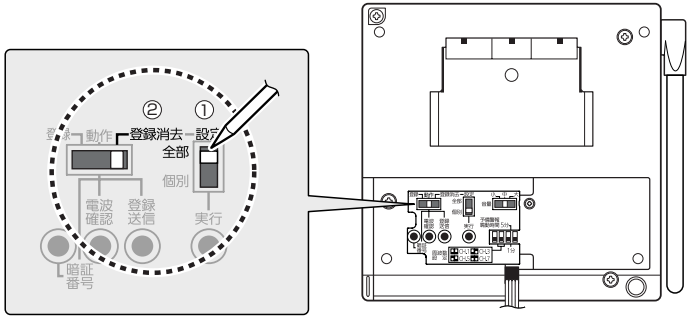


2.1.2 全部消去する

注 ・全消去を実行すると、登録されている発信器・送信器および警戒セット・解除発信器、警報ランプ付ブザー受信器が消去されます。
また、設定されている暗証番号も消去されます。

❶ 消去切替スイッチを「全部」側にし、モード切替スイッチを登録消去モードにする

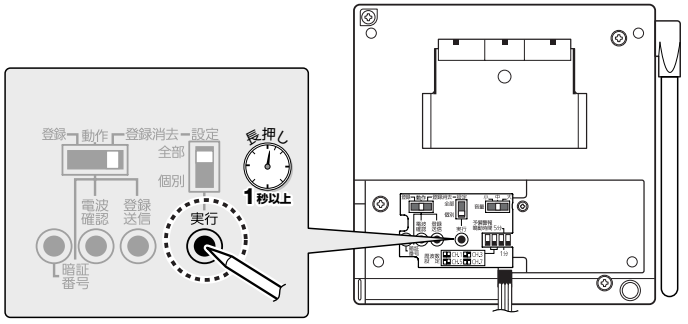
- 「ポン、全消去モードです　登録機器をすべて消去する場合は消去実行ボタンを押してください」が鳴ります。
- 発信器･送信器が登録されている状態表示灯が点滅します。



注 ・受信器に何も登録されていない場合は、メッセージは鳴りません。

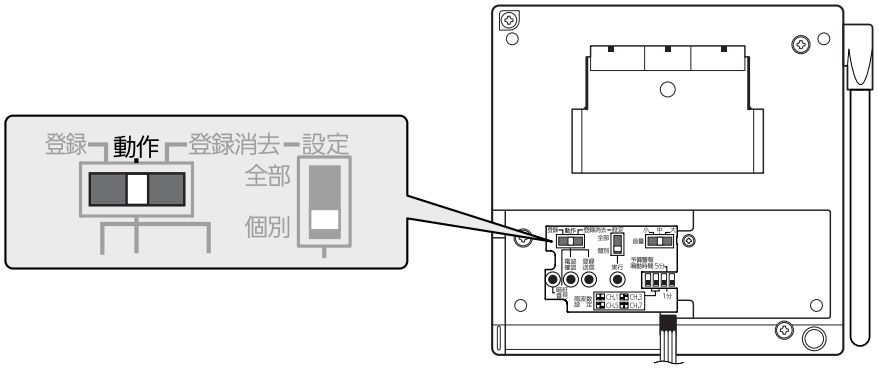
❷ 消去実行ボタンを1秒間長押しする

- 「ピー、登録全消去しました」が鳴ります。
- 点滅していた状態表示灯が1秒間点灯します。



❸ モード切替スイッチを動作モードにする

- 「ポン、動作モードに戻りました」が鳴り、動作モードに戻ります。
- 警戒ボタン、報知ボタン、およびすべての状態表示灯が点滅します。



2.2 送信器の登録エリアを変更したい場合は

●下記の送信器は登録エリアを変更することができます。
例えば、「窓1用」に使用していた窓センサー送信器を「窓2用」に変更するときなどに操作します。

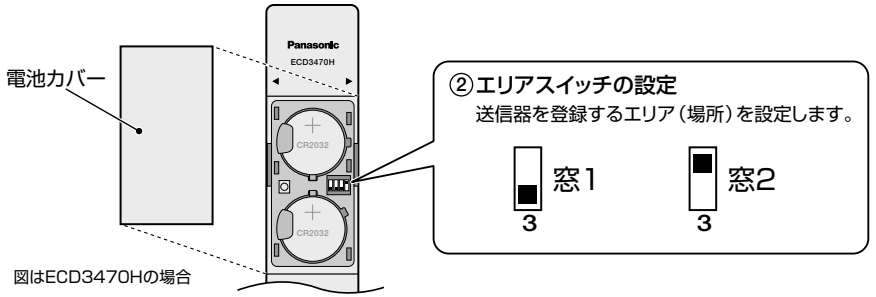
登録エリアを変更できる送信器	変更可能な登録エリア
窓センサー送信器（ECD3470A・H）（ECD3470AP・HP） 窓ガラス破壊センサー送信器（ECD2490A・H）（ECD2490AP・HP）	窓1/窓2
ドア・窓センサー送信器（ECD2472A・H） ドア・窓センサー送信器（防沫形）（ECD24721A・H）	玄関/窓1/窓2

注 **・受信器への消去・再登録は必要ありません。**
・受信器のモード切替スイッチは動作モードのままで変更できます。

❶ 登録するエリアを変更する送信器の「エリアスイッチの設定」を変更する

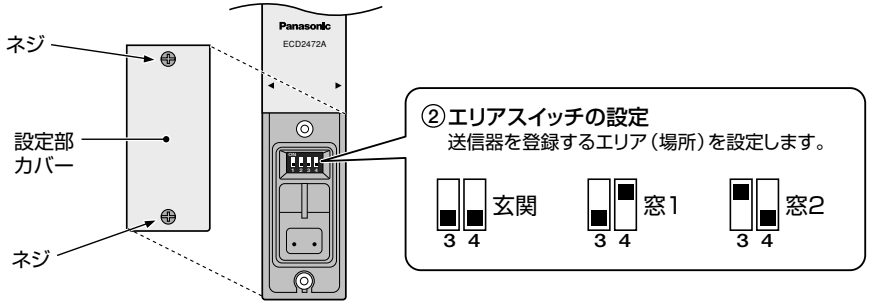
〈ECD3470A・H/ECD3470AP・HP/ECD2490A・H/ECD2490AP・HPの場合〉

①電池カバーをはずす



〈ECD2472A・H/ECD24721A・Hの場合〉

①設定部カバーのネジをはずし、設定部カバーをはずす



❷ 送信器の電池を入れ直す

❸ ドアや窓を何度か開け閉めする

●変更したエリアの状態表示灯が点灯すれば、変更完了です。

2.3 別売の停電バックアップ電池を使用する場合は つづく

2.3.1 停電バックアップ電池について

●この商品は停電時、自動的に停電バックアップ電池に切り替わり、完全充電状態で約30分間警戒することができ、30分以内に異常を検知した場合は、約5分間警報動作が可能です。

●停電バックアップ電池は48時間充電すると、充電完了です。
（停電バックアップ電池は充電が必要です。）

●停電バックアップ電池は徐々に劣化しますので、2年に一度必ず交換を行ってください。

●長時間使用しない場合は、停電バックアップ電池のコネクタをはずしてください。
電池を入れたままで放置すると充電しても使用できなくなるおそれがあります。

⚠危険

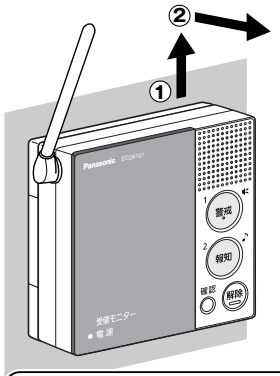
禁止

セキュリティ受信器専用の充電式電池です。
この機器以外に使用しない。
火への投入、加熱をしない。
分解・改造をしない。
液もれ・発熱・破裂の原因となります。

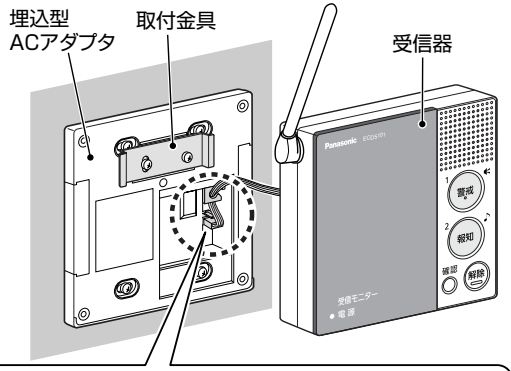
2.3.2 停電バックアップ電池のセット

㊟ ・登録時は埋込型ACアダプタを差し込んで登録してください。
停電バックアップ電池だけでは充電切れが起こり、登録できない場合があります。

❶受信器をはずす
●上にあげて、手前にひいてください。

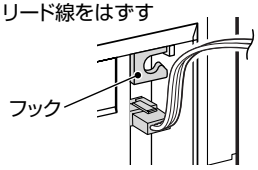


❷埋込型ACアダプタから
コネクタ付リード線をはずす

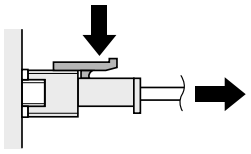


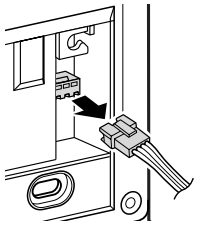
コネクタのはずし方

1.フックからコネクタ付
リード線をはずす

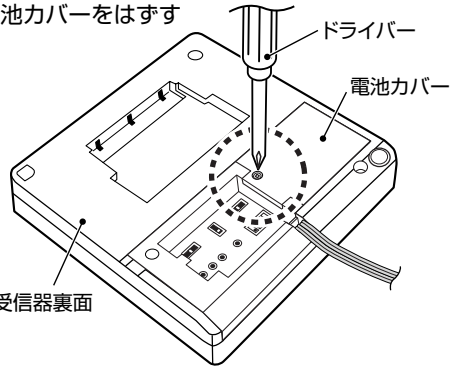


2.押しながら引き抜く

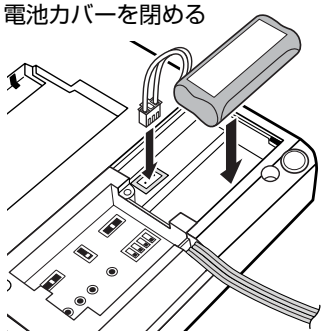




❸電池カバーをはずす



❹停電バックアップ電池をセットし、
電池カバーを閉める



❺埋込型ACアダプタのコネクタ受けに
受信器裏面のコネクタ付リード線を
差し込む（手順 ❷ 参照）

❻埋込型ACアダプタの取付金具に
受信器を取り付ける

3 その他

本章では、Q&A（よくあるご質問）や設定内容記録用紙など、
受信器の設定を行う上で役立つ補足的な内容を
提供させていただきます。

3.1 登録・設定時のトラブル処置 ····· 41～44
3.2 用語集 ····· 45
3.3 登録内容記録用紙 ····· 46～49
●3.3.1／暗証番号設定シート ····· 46
●3.3.2／発信器・送信器登録設定シート ····· 47～48
●3.3.3／警戒セット・解除発信器登録設定シート ····· 49

3.1 登録・設定時のトラブル処置

つづく ■■➡

●機器トラブルが起きたときなど、故障かな?と思っても、修理を依頼される前に一度下記の表で症状をご確認ください。なお、これらの処置をしても問題が解決されない場合、機器が故障していると判断された場合、および該当項目がない場合は、当社に相談してください。

発信器・送信器の登録

1. 特定の発信器・送信器が登録できない

状　態	処　置
複数の発信器・送信器のうち、特定の発信器・送信器が登録できない。	発信器・送信器ごとに確認項目が違います。 「発信器・送信器の故障確認」を参照し、該当する品番の処置を確認してください。(43ページ参照)
発信器・送信器は動作(動作表示灯点灯や操作音鳴動など)するが、登録できない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、受信器と異なる場合は合わせてください。
発信器・送信器を移動させると登録できる。	受信器まで電波が届いていません。 発信器・送信器を移動させてください。

2. すべての発信器・送信器が登録できない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作(動作表示灯点灯や操作音鳴動など)するが、登録できない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、受信器と異なる場合は合わせてください。
受信器の電源表示灯が点滅していない。	受信器を登録モードにしてください。(18ページ参照)
発信器・送信器を動作させていないのに、受信器の受信モニターが点灯・点滅している。	受信器が周辺ノイズの影響を受けています。 受信モニターが消灯する周波数チャンネルに変更してください。

動作しない

1. 受信器が動作しない

状　態	処　置
受信器の電源表示灯が点灯しない。	ブレーカーを「入」側にしてください。
受信器の電源を入れると、警戒ボタン、報知ボタンおよびすべての状態表示灯が点滅する。	正常です。 出荷時状態(発信器・送信器が未登録)で電源を入れた場合の表示です。 発信器・送信器の登録や設定を行ってください。

2. 特定の発信器・送信器が動作しない

状　態	処　置
特定の発信器・送信器が動作しない。	発信器・送信器ごとに確認項目が違います。 「発信器・送信器の故障確認」を参照し、該当する品番の処置を確認してください。(43ページ参照)

3. 特定の発信器・送信器を動作させたときに受信器が動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作(動作表示灯点灯や操作音鳴動など)するが、受信器が動作しない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、受信器と異なる場合は合わせてください。
発信器・送信器を移動させると受信器が動作する。	受信器まで電波が届いていません。 発信器・送信器を移動させてください。

4. どの発信器・送信器を動作させても受信器が動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作(動作表示灯点灯や操作音鳴動など)するが、受信器が動作しない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、受信器と異なる場合は合わせてください。
発信器・送信器を動作させていないのに、受信器の受信モニターが点灯・点滅している。	受信器が周辺ノイズの影響を受けています。 受信モニターが消灯する周波数チャンネルに変更してください。

正常に動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器を登録できたが、電波到達確認モードで受信できない。	電波到達確認モードでは受信器の受信レベル(感度)を下げています。 実際の使用中に電波が届かない場合がありますので、発信器・送信器を移動させてください。
発信器・送信器を動作させていないのに受信器が動作する。	窓センサー送信器、ドアセンサー送信器、門扉センサー送信器、およびドア・窓センサー送信器のマグネットが正しく取り付けられているか確認してください。
発信器・送信器を動作させたときに、受信器に表示されない。	発信器・送信器を受信器に登録してください。 (17ページ参照)

受信器を出荷時状態に戻したい

状　態	処　置
発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を消去したい。	消去モードにします。 消去方法は、全消去、個別消去のパターンから選ぶことができます。(33ページ参照)
暗証番号なしにしたい。	暗証番号設定モードにして、暗証番号を消去してください。 自動的に暗証番号なし設定になります。(28ページ参照)

異常表示

状　態	処　置
受信モニターが常時点灯・点滅する。	受信器が周辺ノイズの影響を受けています。 受信モニターが消灯する周波数チャンネルに変更してください。
受信器の電池切れ表示灯が点灯する。	発信器・送信器の電池切れが発生しています。確認ボタンを押して該当発信器・送信器を特定し、発信器・送信器の説明書にしたがい、電池の交換を行ってください。（取扱説明書「5.1電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯した場合は」参照）
受信器のシステム確認表示灯が点灯する。	確認ボタンを押して異常内容を確認してください。 （取扱説明書「5.1電池切れ表示灯やシステム確認表示灯が点灯した場合は」参照）

発信器・送信器の故障確認

●**ペンダント発信器**（ECD2305）
●**壁掛発信器**（ECD2308）

状　態	処　置
押ボタンを押したときに、発信表示灯が点灯しない、または操作音「ピッ」が鳴動しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●**接点入力送信器**（ECD2411）

状　態	処　置
接続機器を動作させたときに、送信灯が点灯しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●**熱線センサー送信器（屋側用）**（ECD3420A·H）（ECD3420AP·HP）

状　態	処　置
電池を入れてすぐに動作しない。	電池を入れた後、約30秒間は検知動作ができません。 30秒以上経過するまでお待ちください。
一度検知するとしばらく検知しない。	一度検知した後、約10秒間は検知しません。 10秒以上経過するまでお待ちください。
送信器側で音色設定Aまたは音色設定Bに設定しても、動作表示灯点灯後に音が鳴らない。	受信器が非警戒状態になっています。 受信器を警戒セットまたは報知セット状態にしてください。
検知範囲内で動いても動作しない。	熱線センサーは、検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検知します。人体と周辺の温度差が少ない場合や、検知範囲内に障害物がある場合などは検知できません。 送信器の説明書にしたがい、周辺環境を見直してください。
検知範囲内に人がいないのに動作する。	熱線センサーは、検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検知します。検知範囲内に温度変化する物体や、動く物体があると動作します。 送信器の説明書にしたがい、周辺環境を見直してください。
上記対処をしたが動作しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●**窓センサー送信器**（ECD3470A·H）（ECD3470AP·HP）
●**ドアセンサー送信器**（ECD3472A·H）（ECD3472AP·HP）
●**門扉センサー送信器**（ECD3474A·H）（ECD3474AP·HP）
●**ドア・窓センサー送信器**（ECD2472A·H）
●**ドア・窓センサー送信器（防沫形）**（ECD24721A·H）

状　態	処　置
受信器の状態表示灯が点灯し、ドアや窓の開閉を検知できない。	本体用マグネットが正しく取り付けられていない可能性があります。 送信器をテストモードにして、マグネットの検知範囲を確認してください。詳しくは送信器の説明書を参照してください。
上記処置をしたが動作しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●**警戒セット・解除発信器**（ECD3320·ECD3320P）

状　態	処　置
電源ボタンを押したときに、電源表示灯が点灯しない、または操作音「ピッ」が鳴動しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

3.2 用語集

用 語	意 味
警戒セット状態 報知セット状態 非警戒状態	受信器の状態のことで3種類のいずれかを選択できます。 それぞれのボタンを押すことでワンタッチで状態を切り替えることができます。（取扱説明書の21～24ページ参照）
モード	受信器の動作状態を「モード」と言います。 受信器を次のそれぞれの動作状態にして、登録や設定、電波確認などを行います。発信器・送信器を登録するには「登録モード」、登録した発信器・送信器からの電波の到達を確認するには「電波到達確認モード」、暗証番号を設定するには「暗証番号設定モード」、発信器・送信器の登録を消去するには「登録消去モード」、通常の使用時は「動作モード」にします。
警戒開始遅延時間	警戒セットしてから実際に警戒を開始するまでの時間（5分間固定）。 警戒開始遅延時間内に玄関や敷地に登録された送信器から送信された防犯異常信号は無視されます。 たとえば玄関は、警戒をセットしてすぐに警戒状態に入ってしまうと外出時に警報発生してしまうため、警戒開始遅延時間が設定されています。
予備警報	防犯警戒中に玄関に登録された送信器からの防犯異常信号を受信してから、防犯警報に移行するまでの状態。
予備警報時間	予備警報の時間（1分間/5分間）。この時間内に警戒解除操作を行えば、防犯警報には移行しません。
電波到達確認	発信器・送信器の電波が確実に届くかどうかを確認する機能です。
セキュリティ電波	ECD品番の発信器・送信器が使用する「小電力セキュリティシステム電波」のこと。 最大10mWの送信出力を持つため、ECE品番の発信器・送信器より電波到達信頼性が高いのが特長です。 使用周波数 CH1（426.7625）MHz CH3（426.7875）MHz CH5（426.8125）MHz CH7（426.8375）MHz
一部警戒	戸締りされていない窓を除いて警戒セットされた状態。戸締りがされた時点でその窓も警戒状態になります。就寝前など、一部の窓だけをしばらく開けておきたい場合に便利です。（取扱説明書の27ページ参照）

3.3 登録内容記録用紙

つづく ■■➡

●設定後、お客さまの控えのため、「暗証番号設定シート」、「発信器・送信器登録設定シート」、および「警戒セット・解除発信器登録設定シート」に設定内容・登録内容を書き込んでお使いください。

3.3.1 暗証番号設定シート

暗証番号を登録した場合は下欄に記入してください

3.3.2 発信器・送信器登録設定シート

エリア	登録番号	発信器・送信器の品番	設置場所
（例）玄関	1	ECD3472A	玄関 ［設置場所が特定できるように記入してください。 ※例:2階の**東側窓** など］

エリア	登録番号	発信器・送信器の品番	設置場所

3.3.3 警戒セット・解除発信器登録設定シート

（所有者の欄には“お父さん”など、その警戒セット・解除発信器を所持している人を書き込んでください。）

使用台数	所有者
1台目	
2台目	
3台目	
4台目	
5台目	
6台目	
7台目	

MEMO

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008